

持続可能社会と ユビキタス

坂村 健

東京大学大学院教授

YRPユビキタス・ネットワーキング研究所所長

T-Engineフォーラム会長／ユビキタスIDセンター代表

1

レコーディング・ダイエット をご存知ですか？

最近はやりの計って記録する「**だけ**」のダイエット

2

本当に計って記録する「だけ」でダイエット

- 体重や食べ物を記録するだけで、他には特別なことをしないででもダイエットできるらしい

- 参考文献

- 『計るだけダイエット—効果倍増7日間健康レシピ』 NHKためしてガッテン
- 『いつまでもデブだと思うなよ』 新潮新書

なぜか?

- 人間はフィードバックによるチューニングに快感を覚えるようにできている

- いろいろ工夫してそれが結果につながるとうれしくなる脳の回路
- 職人の向上心から、テレビゲームまで、具体的な利益がなくても自発的に研鑽を続けるのも同じ理由

3

逆に言うと…

自分の工夫が結果としてすぐ目に見えないとダメ
工夫してもその結果が一貫性がないように見えるとダメ
ここをこうしたからこうなったと「可視化」することが大事

4

「欲しがりません、 勝つまでは」はダメ

「CO² 1人1kg減」といった国民運動の効果は…?

個人の「欲しがらない」ことが全体の「勝つ」につながるの？
自分がどう欲しがらなかったが、全体がどう勝つのにつながったか
可視化できないからダメ

5

サステナブル貢献の 可視化を

ソーラーパネルを導入した家で省エネが進んだと言われるのは
ソーラーパネルの発電以上に
入電量・発電量のメータがあって
電力状況がはっきりわかることの効果大きいという説もある

6

どのように 可視化するかが重要

可視化のため**だけ**に設備を導入するのでは
うまくいかないだろう
ソーラー住宅の場合もメーターは
「発電した電力を売るため」というのが第一義

7

「省エネナビ」の普及は？

■ 省エネナビ

- 財団法人省エネルギーセンターの配電盤の電流をモニターして無線で居間の表示器に送るシステム

■ 主旨はわかるが画面が地味過ぎ

- ゲーム的グラフィックなどで、分かりやすく表示する手法はいくらでもあるだろう

■ より大きな問題は…

- 総電力消費のみしかわからず、どの機器がどの時間帯にどれくらいエネルギーを使用しているかなどははっきりわからないこと
- 工夫の「戦略」が立てにくいし、機器をいちいち切ったり入れたりの手間が大きいと「楽しく」なくなる

8